



2023年5月29日

株式会社 阿波銀行

株式会社ムラナカの「SDGs 宣言書」策定について  
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 福永丈久、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、株式会社ムラナカ（代表取締役 前川 利計、本社：徳島県三好市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

#### 【企業概要】

企業名	株式会社ムラナカ
所在地	徳島県三好市三野町加茂野宮 1311 番地 1
代表者	前川 利計
業種	建設業
設立	1964年8月1日

#### ○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。



## 株式会社ムラナカ 代表取締役 前川 利計

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取り組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
社会・経済	多様な人材活用	性別、国籍、年齢、人種、出身、宗教などによる差別の禁止を目的に、多様な人材が活躍できる環境の整備に努めます。	① 外国人労働者への適切な処遇や労働環境の整備	5 ジェンダー平等を実現しよう 	10 人や国の不平等をなくそう 
			② 2025年までに外国人労働者1人採用	8 働きがいも経済成長も 	
環境・経済	移動・輸送における環境配慮の推進	社有車、従業員の移動、製品の輸送などにおいて、より環境に配慮した手段を選択します。	① ハイブリッドカー・電気自動車・燃料電池車（FCV）の導入	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	
			② 2025年までにハイブリッドカー1台導入	13 気候変動に具体的な対策を 	
社会・経済	地域活性化・産業振興	持続可能な地域づくりのため、地域の社会的・経済的な活性化の取り組みを行います。	① 地域行事や町おこし活動に積極的に参加	11 住み続けられるまちづくりを 	
			② 年2回以上参加	17 パートナリシップで目標を達成しよう 	
環境	環境への配慮	エコアクション21認証を継続させるとともに、環境に配慮した製品の導入を行います。	① (1)二酸化炭素排出量削減の実施 (2)事務用品(工事看板等)のグリーン購入、リサイクル製品の積極的な導入	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	13 気候変動に具体的な対策を 
			② (1)年間1%削減の継続実施 (2)年間3品目以上	12 つくる責任 つかう責任 	



### SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。